

2021年9月30日

「住友金属鉱山 統合報告書 2021」を発行

事業を通じた社会課題の解決とステークホルダーの関心の高い内容を重点的に説明

住友金属鉱山株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：野崎 明）は、本日、「住友金属鉱山 統合報告書 2021」（日本語版）を発行しました。

2016年より6回目の発行となる本統合報告書では、当社グループの価値創造について、サステナビリティと事業とのさらなる融合を図りながら、事業を取り巻くリスクと機会、競争力や提供価値、ビジネスモデルや戦略を関連付けて説明しています。

本報告書を通じて、社内外の様々なステークホルダーの皆様に、当社グループが目指す“持続的な成長と企業価値の最大化”に向けた取り組みについて、より一層ご理解を深めていただくとともに、本報告書を対話のツールとしてお役立ていただきたいと思います。

【統合報告書（PDF）ダウンロード】

<https://www.smm.co.jp/ir/library/annual/>

※英語版は11月中旬発行予定



「住友金属鉱山 統合報告書 2021」表紙

■ 統合報告書 2021 の主な特長

- 1) 当社グループの価値創造モデルの特徴の明確化
当社グループならではの価値創造を生み出す仕組みについて、各プロセスの詳細をより定量化し、解説も記載。
- 2) 特集「脱炭素社会にむけて加速する自動車電動化」
資源・製錬・材料の3事業連携を活かしたxEV用二次電池正極材ビジネスの進展、3事業連携による強みを解説。
- 3) 当社グループのマテリアリティとしての「2030年のありたい姿」の重要課題の進捗
「2030年のありたい姿」の重要課題の1年間の進捗を11の重要課題別にKPIも含めて説明。
- 4) サステナビリティに関わる詳細データの分冊化
掲載内容の選別を行い「ESGデータブック 2021」として分冊化を昨年に続き継続。開示情報の質と量を維持しつつ読みやすさを追求。

以 上

本件に関するお問合せ先

住友金属鉱山株式会社 広報 IR 部 東京都港区新橋 5-11-3 新橋住友ビル

TEL : 03-3436-7705 E メール : smm_koho@smm-g.com